



54号の主な内容

- 若者よ国連を目指せ 開催
- 晃澤優福岡本部長インタビュー
- ハビタットひろば
- ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル公演

第54号
<http://cnhf.web.fc2.com>

■若者よ国連を目指せ 開催

7月28日ハビタット福岡市民の主催でシンポジウム「若者よ国連をめざせ～国際機関で働くためには～」を開催しました。副代表の佐竹さんによる当会の紹介から、ハビタット福岡本部より晃澤本部長のご挨拶、そして外務省国際機関人事センターの萩野先生による基調講演、パネルディスカッションではWFP国連世界食糧計画 日本事務所の濱井貢氏をお招きしました。



基調講演では、国際人事センターの紹介から、国際機関で働くにあたっての考え方や働き方、各国際機関の紹介、必要な資質、給与などお話くださいました。

国際機関の応募方法に関しては3つあります。1つ目は空席公告といい、一括採用ではなく、空きが出た枠に対しての公募です。2つ目は(若い人にはお勧めの)JPO派遣制度です。JPO派遣制度とは、将来国際機関で働く意思のある若手日本人を、2年間国際機関へ派遣する制度です。お勧めな理由は、倍率が低いこと(約5人に1人)、2年間終了した後も空席公募が決まりやすくなること、人脈が築けること等があります。JPO派遣制度の受験資格は、①年齢が35歳以下であること②大学院修士号を持ち、2年以上の実務経験があること③英語で職務を遂行できること④日本国籍を有すること⑤国際機関で勤務するという気持ちです。3つ目は、国連事務局 YPP



です。受験資格は①日本国籍を有すること②32歳以下③試験実施分野で学士号以上の学歴であること④英語またはフランス語で職務遂行が可能なことです。学士号以上のため、大学卒業後に受験は可能ですが、日本人で学士号だけで決まった人はおらず、全員修士号を取っています。

第1部の基調講演では、参加された方々が熱心に聴いており質問も次から次に上がりました。講演を聞いて自身に可能性があると気づいた方もいるのではないかと思います。(前田直樹)

第2部のパネルディスカッションでは、コーディネーターに当会事務局の前田直樹と福岡女学院大学の林瑞紀さん、パネリストにWFP国連世界食糧計画 日本事務所 政府連携担当官の濱井貢氏をお迎えしました。

WFP 国連世界食糧計画は持続的可能な開発計画SDGsの2番目である「世界の飢餓をなくす」の目標に向かって責任を担っている国連専門機関です。

濱井氏は福岡県出身で大学卒業後に福岡市役所に勤務し、福岡の街づくりに携わって来られました。その後、友人に誘われて中国を訪れたときに外の世界に衝撃を受け海外に目を向けるようになり、JICA 青年海外協力隊に参加し、こうして国際協力の世界に足を踏み入れるきっかけになったそうです。やりがいのあったプロジェクトの紹介では、マラウイでの Purchase for Progress の経験を語ってくださいました。



WFP 国連世界食糧計画の活動は、以前は先進国の余った食糧を開発途上国に分配していたこともあったそうですが、現在は開発途上国の食糧生産性の向上のための技術やノウハウを提供するとともに開発途上国で生産された食糧を買い取り、食糧生産が困難な地域に分配することにより開発途上

国内で貧困や飢餓をなくす取組みを進めており、WFP 国連世界食糧計画が調達する食糧の実に70%以上が開発途上国から購入しているとのことでした。また、現地での活動では食糧を購入するといった行為すら、生産物の品質や納入量の減少、納期の遅延、更には価格面でもトラブルが発生するなど苦勞が絶えなかったが、こうした苦勞を現地の人々とともに乗り越えてプロジェクトを達成したときが一番印象に残っているとのことでした。

パネルディスカッションの最後には、濱井氏より会場の方へ「若いうちはステップやルールとかにとらわれずに、色々なことに興味をもってチャレンジしてほしい」「出来るか出来ないか迷っている暇があったら、出来るか信じて突き進んでほしい」との励ましのメッセージをいただきました。出席された若い方々の心に響く、力強いそして勇気を与えてくれるメッセージでした。(Y.T)

午後5時過ぎより飲食店 SuitoFukuoka で「若者よ国連を目指せ！」の懇親会が行われました。大人18名十子供7名ほどの参加で、基調講演をされた萩野さんやパネリストの濱井さんも参加していただきました。市民の会の佐竹副代表の乾杯の発声後、各々ノンアルコールで和風な食事を愉しまれていた様子が、時間が少し経つと1部屋にテーブルに盛られた食事を片手に、学生の方々は熱心にお二人を囲んで経験話・アドバイスを聴かれています。

初対面同士がほとんどだったのですが、共通の関心事項の話ですぐ打ち解けられた様子でした。学生同士は将来の職業について語り合い、国際色豊かな話題が中心だったようです。NGO 経験者もいらっしかったです。

私自身も萩野さんの領事館勤務時代の話が聴けて興味深く面白かったです。宮崎県から中学生が2名参加され、小さな子供たちは部屋を走り廻り、初々しさや賑やかさに華をそえていました。メール等連絡先交換もお互いにされている様子でした。会の終わりには市民の会の坪根さんによる博多一本締めにて気持ちを盛り上げて会を締め、皆で記念撮影を行いました。

台風が近づいているとニュースで取り上げられている中、皆さん参加していただきありがとうございました!

(T.Y)

■是澤優福岡本部長インタビュー

平成30年7月10日に国連ハビタット福岡本部にて是澤本部長にインタビューをしました。

○出身と大学で何を勉強しましたか？趣味は何ですか？

出身は宮崎市です。東京工業大学大学院で社会開発工学専攻の修士卒業です。趣味は、ゴルフ、社交ダンス。街歩きです。

○これまでの経歴は？

1988年国土庁に就職しました。1991年国連ハビタット（在ケニア、ナイロビ）、1997年経済協力開発機構（OECD）（在フランス、パリ）、2008年国土交通省国土計画局、2009年アジア防災センター所長（在神戸市）、2012年総務省消防庁国民保護・防災部等に勤務しました。2017年6月より国連ハビタット福岡本部長に就任しました。

○なぜ国連ハビタットに就職したのですか？

大学院の時スラム研究をしていて、タイで1か月間タイ最大のスラムに行き調査しました。発展途上国のスラム問題、都市問題に興味がありました。国土庁にいた時、国連ハビタットに行きたいと思いました。

○仕事（国連ハビタット）の課題は？

主に都市化がもたらす課題ですね。①都市に貧困層が入ってきてスラム人口が増大している。②スプロール化（都市域の無秩序な拡大）している。③災害危険性の高い傾斜地や低湿地にまで住宅地が拡大している。④大気汚染や悪質な衛生環境、増大する廃棄物などの都市環境問題です。

○仕事（国連ハビタット）の解決方法は？

SDGs（持続可能な開発目標）で目標11の「包摂的で安全かつ強靭で持続可能な都市および人間居住を実現する」です。2016年から2030年までの国際目標であり、誰一人取り残されないようにするものです。都市化がもたらす課題を解決するには、都市計画、都市経済（都市財政を含む）、都市に関する法制度の三側面を充実することにより「計画的な都市化」を推進することが重要であると思います。

○一番大切に思っていることは？

本部と国（フィールド）の連携、意思疎通を大切にします。現場を大切にする。現地の人々の視点で考える。現場からのフィードバックを反映し、現場の人々の苦勞を認識する。感謝することです。

○モットーの言葉は？

「問題は対処すればいつか解決する。地道にやる。」です。



親切に、熱心に答えていただきました。誠実な人柄が伝わりました。大変ありがとうございました。

（佐竹芳郎）

■ハビタットひろば

6月1日（金）第44回「スリランカにおける紛争後の再建事業 ～復興のまちに人々が望むこと～」

国連ハビタットが2013年～2017年にスリランカ北東部州で実施した紛争後のコミュニティ・インフラ再建事業をテーマに開催されました。

講演会では、国連ハビタット アフガニスタン事務所人間居住専門官の松尾敬子氏をお招きし、松尾氏が2012年から2017年にかけてスリランカに駐在し、コミュニティ・インフラ再建事業に取り組んだ活動内容についての報告がなされました。

現地では、住民参加型の手法であるPeople's Processを用いて事業を実施し、多くの地域において村道や排水溝、幼稚園などの教育施設のコミュニティ・インフラを再建し、こうした取り組みの結果、そのコミュニティで暮らす多くの人々の生活環境が改善された旨語っていただきました。（Y.T）



■ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル公演

ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル日本ツアー2018公演が7月18日に行われました。

この公演は、アジア太平洋子ども会議・イン福岡と国連ハビタット福岡本部を支援するコンサートとして毎年パナソニックが主催して行われています。

今年の公演も、音楽の楽しさや華やかさを伝える素晴らしい音色の公演でした。印象に残った演奏としては、モーツァルト作曲の「協奏交響曲 変ホ長調」で、バイオリンとピオラの名手による二重協奏曲として、また二つがオーケストラと協調的に響きを作り、そのハーモニーがとても美しかった。バッハ作曲の「組曲3番よりアリア」も、穏やかで優雅で荘厳な美しさに溢れているメロディーがとても素晴らしかった。アンコール曲を3曲弾いてくれましたが「トランペット吹きの子守歌」は、女性のトランペッターがとても優しく弾いてくれました。観客は魅了されなかなか拍手が鳴りやみませんでした。至福の時を過ごすことができました。（佐竹芳郎）



事務局・お問い合わせは



郵便物のあて先は：

〒838-0134 小郡市下西鰯坂1493 牟田慎一郎宛

お問い合わせは：

TEL：090-6770-2481（牟田）

FAX：0942-41-2080

E-mail：muta@ktarn.or.jp

Facebook：ハビタット福岡市民の会

HomePage：<http://cnhf.web.fc2.com>

